

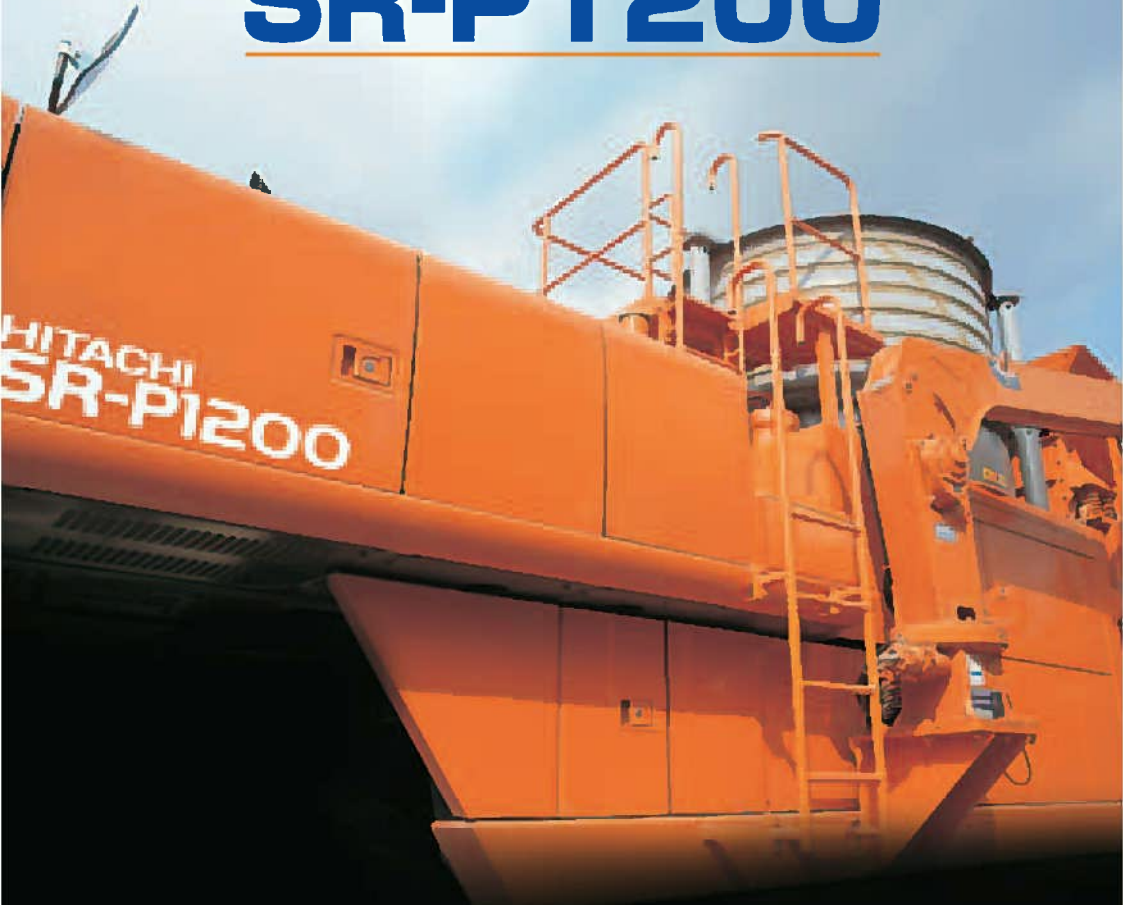


Hi-OSS  
Hitachi On-site Screening & Solution

自走式土質改良機

# SR-P1200

HITACHI



## ■仕様

		SR-P1200
運転質量	t	21.0
寸法	全長	mm 12,570
	全幅	mm 2,990
	全高(輸送時)	mm 5,180 (3,500)
エンジン	型式	いすゞA-6BGIT
	総排気量	L 6,494
混合機	定格出力 kW/min <sup>3</sup> /PS/rpm	99/1,950 (135/1,950)
	処理量*1	t/h (m <sup>3</sup> /h) 最大120 (80)
	混合方式	2輪/トルミキサ
	土砂ホッパ容量	m <sup>3</sup> 1.8
	最大許容塊	mm 60(振動スクリーン選別)
走行部	固化材ホッパ容量	m <sup>3</sup> 3.0(伸縮方式)
	シュー形式	トリブルグローサ
	シュー幅	mm 500
油圧部	接地圧	kPa kgf/cm <sup>2</sup> 66.0 (0.67)
	走行速度	km/h 3.5
	燃料タンク	L 310
	作動油タンク	L 200
計量装置	コンベヤスケール(連続式土砂量計量測器)	
クレーン性能*2	昇降/量伸	1×m 2.6×1.6/1.2×3.0

<注> ●単位は、国際単位系(SI)による表示です。

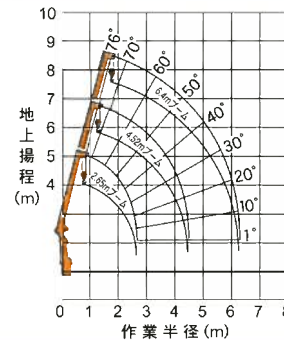
( )内は、従来の単位表示を参考値として併記しました。

●輸送時は固化材ホッパを縮め、振動スクリーンのあおりを倒し、固化材ホッパの手すりを外します。

\*1は、土の性状や作業条件により異なります。

\*2は、最大つり上げ能力時の数値です。

## ■クレーン作業範囲



**日立建機株式会社**

東京都文京区後楽2-5-1 〒112-8563

環境システム営業部 ☎(03)3830-8135

URL: <http://www.hitachi-kenki.co.jp>

- カタログに記載した内容は、予告なく変更することがあります。
- 掲載写真は、販売仕様と一部異なる場合があります。
- 機械を離れるときは、必ず作業装置を接地させるなど、安全に心掛けてください。
- 機体重量3t以上の建設機械の運転には「車両系建設機械運転技能講習修了証」の取得が必要です。
- クレーン部を使用する場合は「小型移動式クレーン運転技能講習修了証」「玉掛け技能講習修了証」の取得が必要です。
- 本機をトレーラなどで輸送する場合は、関係官庁(警察署、国道工事事務所など)の通行許可が必要です。また、輸送時の質量と寸法については、関係法規(道路交通法、道路運送車両法、道路法)に従い、事前にご確認ください。

資格取得のご相談は(株)日立建機教育センターの各教育所へ  
 教育センター TEL. 048-931-0121 神奈川 TEL. 042-730-6716  
 北海道 TEL. 0133-64-6388 山梨 TEL. 0120-493-160  
 宮城 TEL. 022-364-6143 愛知 TEL. 0564-57-7123  
 埼玉 TEL. 048-931-0121 京都 TEL. 075-957-4944  
 茨城 TEL. 029-828-2370 岡山 TEL. 086-464-5411  
 水戸 TEL. 029-352-0285 福岡 TEL. 092-963-3634  
 群馬 TEL. 027-230-5311

※「オンサイトスクリーニング」は、日立建機株式会社の登録商標です。  
 「ハイオス」Hi-OSS は、商標登録出願中です。

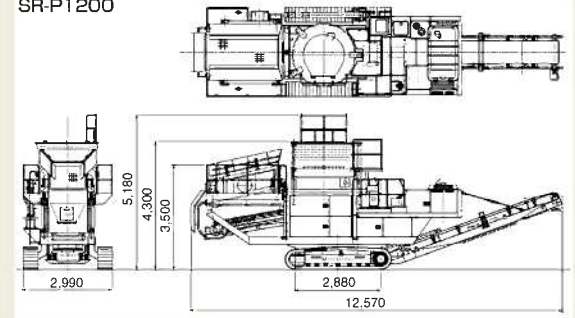


環境にやさしい植物性大豆油インキを使用しています。

## ■寸法図

SR-P1200

単位: mm



## ■オプション

- 清掃用エアコンプレッサ ●データ出力装置 ●集塵機
- 振動スクリーン用網(60 mm×120 mm以外の網) ●トラックガード
- データ出力機能: 日報・月報データを取得できます。(ICカードまたはプリンタ出力を選択できます)

## 作業量拡大型の自走式土質改良機

地盤改良、粘性土・高含水比土質に好適



**SR-G2000**

最大処理量\*: 135 m<sup>3</sup>/h

作業量拡大型の自走式土質改良機。  
 固化材コストを低減し、効率良く高品質な改良土を生産。

\*処理量は、土の性状や作業条件により異なります。



安全に関する  
 ご注意

正しい操作と、周囲への思いやりは、安全作業の第一歩です。  
 ご使用前に、必ず「取扱説明書」をよく読み、正しくお使いください。

●お問い合わせは…



# 土をリサイクル

土も大切な資源です。

限りある資源を有効活用するために、

SR-P1200は、建設発生土をリサイクルします。

※稼働写真は、お客様が改造された部分が含まれており、販売仕様と一部異なっております。



定置式プラント並みの  
処理量と品質を両立

## SR-P1200

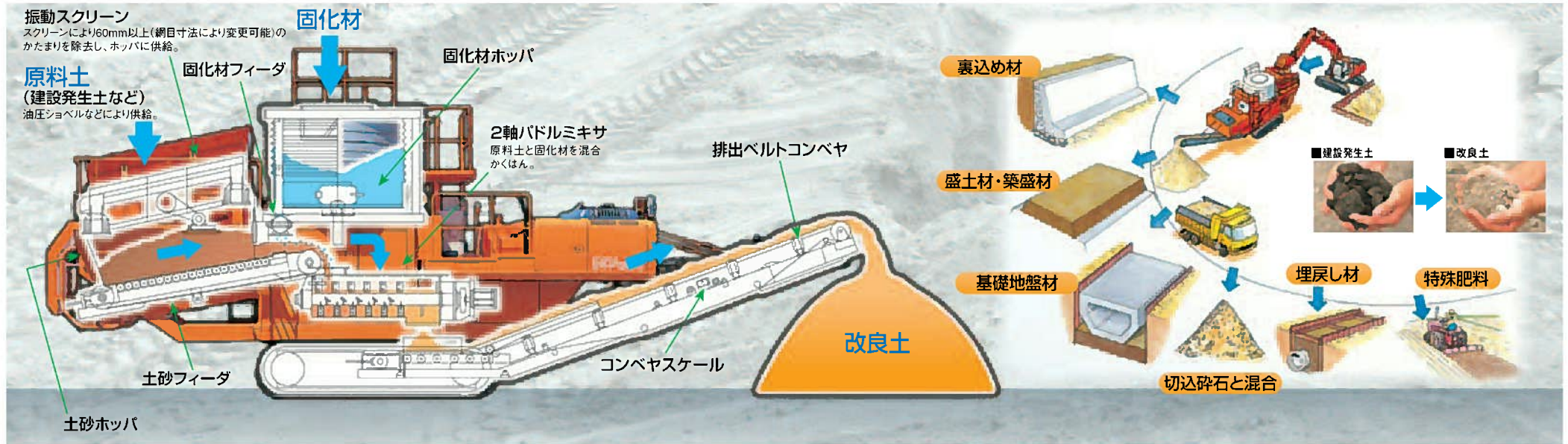
混合性能に優れた「2輪バドルミキサ」を採用。  
低コストで高品質な土質改良を実現しました。

**最大処理量：120 t/h**

＜注＞処理量は、土の性状や作業の条件により異なります。



# 低コストで、高品質なリサイクルを実現



## 作業性

### ■高い混合効率で広範囲の土質に対応

振動スクリーン(60 mm×120 mm)を標準装備。混合効率の高い2軸バドルミキサを採用し、高粘性土から砂質土まで、さまざまな原料土に対して効率良く高品質な土質に改良します。



振動スクリーン

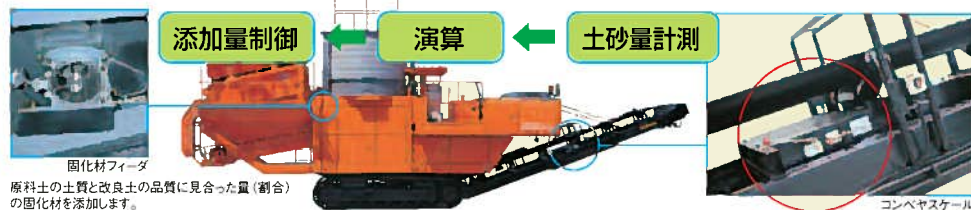


2軸バドルミキサ

### ■高精度の固化材供給システムで固化材コストを低減

コンベヤスケールにより改良土の質量を直接計測し、比例制御方式により設定添加率の固化材を供給します。

#### 高精度固化材供給システム (特許)



## 操作性・安全性

### ■クレーンを標準装備

固化材ホッパ伸縮作業や固化材の投入作業は、標準装備のクレーンで行うことができます。

最大つり上げ能力(最縮/最伸)  
**2.6 tx1.6 m / 1.2 tx3.0 m**



## 機動性・輸送性

### ■現場内、現場間の移動が容易

自走式クローラで、現場内を機敏に移動。トラック・トレーラへの丸積輸送を可能にする、伸縮式固化材ホッパを採用。



※写真は、固化材ホッパを縮め、振動スクリーンのあたりを倒し、固化材ホッパ部の手すりを外した状態です。

### ■ワンマンコントロールが可能

スイッチひとつで連動運転が可能。万一の異常発生時には回転灯・警報で知らせ、異常状態を操作盤に表示します。

■非常停止ボタン ■回転灯



●土砂フィーダの起動・停止は無線リモコン操作でできます。



操作盤



無線リモコン

## 土質・作業条件に合わせたオプションを用意

- アーチブレーカ  
土砂ホッパ内の架橋を防止します。
- ブレード型スクリーン  
高粘性土を切る構造により、スクリーン通過効率を向上させます。



アーチブレーカ



# さまざまな現場で稼動



■ 碎石山の表土を改良



■ 建設発生土を改良

VR308+SR-P1200

■ 優れた混合性能と高精度固化材供給システムは、改良土製造以外の工法にも適用可能です。



SR-P1800特殊仕様機：SR-P1200をベースに混合機容量を拡大させた仕様。処理能力は向上しますが、適応土質が限られます。

## セメント安定処理路盤材の製造

既存のソイルプラントの3分の1程度の敷地で施工が可能。工期短縮・コスト削減に大きく貢献。

## 管理型産業廃棄物最終処分場における遮水材（ベントナイト混合土）の製造

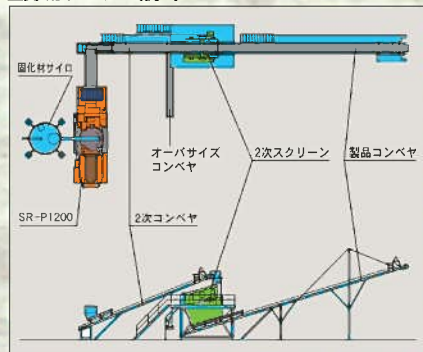
厳しい添加率管理が要求される工事において、高精度固化材供給システムによる品質管理で対応。



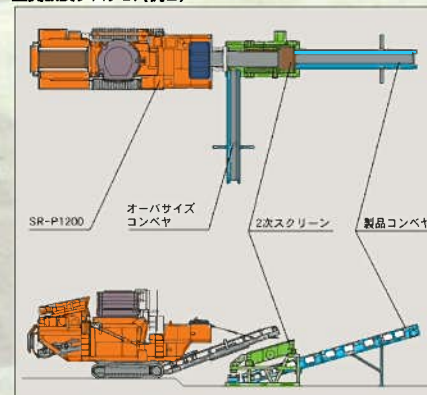
## 土質改良システムへの対応

■ ニーズに合わせた改良土を製造するために、土質改良システムを提案しています。

### 土質改良システム（例1）



### 土質改良システム（例2）





## 自走式土質改良機

# SR-G2000

### 仕様

型式		SR-G2000
運転質量	t	18.6
寸法	全長	mm 12,500
	全幅	mm 2,990
	全高(輸送時)	mm 4,355 (3,485)
エンジン	型式	いすゞA-6BG1T
	総行程容積(総排気量) L(cc)	6,494 (6,494)
混合機	定格出力 kW/min <sup>1</sup> (PS/rpm)	99 / 1,950 (135 / 1,950)
	最大処理量*1	m <sup>3</sup> /h 135
	混合方式	2軸/バドルミキサ
	土砂ホッパー容量	m <sup>3</sup> 1.8
	最大許容塊	mm 150
	固化材ホッパー容量	m <sup>3</sup> 3.0 (伸縮方式)
走行部	シュー形式	トリプルグロウサ
	シュー幅	mm 500
	接地圧	kPa(kg/cm <sup>2</sup> ) 58.0 (0.59)
	走行速度 高/低	km/h 5.3 / 2.0
油類容量	登坂能力	度(%) 24 (45)
	燃料タンク	L 230
	作動油タンク	L 193
クレーン性能*2 最縮/最伸	l×m	2.6×1.6 / 1.2×3.0

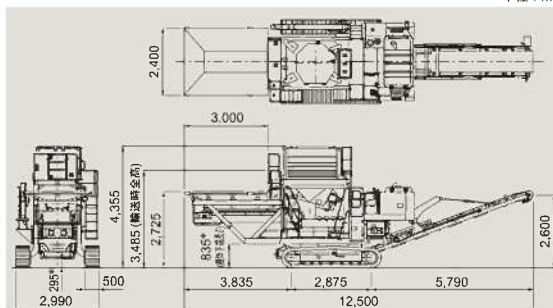
(注) ●単位は、国際単位系(SI)による表示です。( )内は、従来の単位表示を参考値として併記しました。  
 ●輸送時は固化材ホッパーを締め、土砂ホッパーの手すりを倒し、固化材ホッパーの手すりを外します。  
 ●\*1は、土の性状や作業条件により異なります。  
 ●\*2は、最大つり上げ能力時の数値です。

### オプション

- 清掃用エアコンプレッサ ●データ出力装置 ●グリスリバー
  - エアレーション装置\* (固化材ブリッジ崩壊用)
- \*清掃用エアコンプレッサが必要になります。

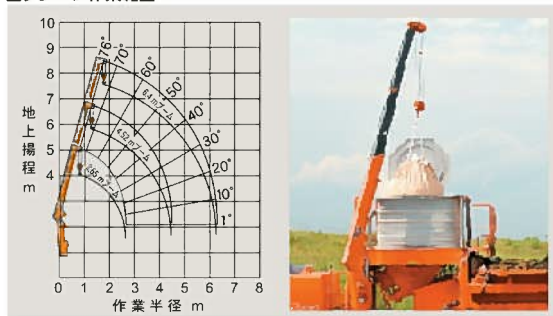
### 寸法図

単位: mm



(注) \*印の寸法は、シューラッグ高さを含みません。

### クレーン作業範囲



## 低コストで高品質な土質改良機

定置式プラント並みの処理量と品質を両立

# SR-P1200

最大処理量\*: 120 t/h

混合性能に優れた「2軸バドルミキサ」を採用。  
 低コストで高品質な土質改良を実現しました。

(注) \*処理量は、土の性状や作業条件により異なります。

## 日立建機株式会社

東京都文京区後楽 2-5-1 〒112-8563  
 Hi-OSS推進部 ☎(03)3830-8135  
 URL: <http://www.hitachi-kenki.co.jp>

- カタログに記載した内容は、予告なく変更することがあります。
- 掲載写真は、お客様が取り付けられた部品が含まれており、販売仕様と一部異なっております。
- 機体を離れるときは、必ず作業装置を接地させるとともに安全に心掛けてください。
- 機体重量3t以上の建設機械の運転には「車両系建設機械運転技能講習修了証」の取得が必要です。
- クレーン部を使用する場合は「小型移動式クレーン運転技能講習修了証」「玉掛け技能講習修了証」の取得が必要です。
- 本機をトレーラなどで輸送する場合は、関係官庁(警察署、国道工事事務所など)の通行許可が必要です。また、輸送時の質量と寸法については、関係法規(道路交通法、道路運送車両法、道路法)に従い、事前にご確認下さい。

資格取得のご相談は(株)日立建機教習センターの各教習所へ  
 教習センター TEL.048-931-0121 埼玉 TEL.048-931-0121  
 北海道 TEL.0133-64-6388 神奈川 TEL.042-730-6716  
 北 海 道 TEL.0133-64-6388 山 梨 TEL.0120-493-160  
 宮 城 TEL.022-364-6143 山 梨 TEL.0120-493-160  
 茨 城 TEL.029-828-2370 愛 知 TEL.0564-57-7123  
 茨 城 TEL.029-828-2370 愛 知 TEL.0564-57-7123  
 水 戸 TEL.029-352-0285 京 都 TEL.075-957-4944  
 栃 木 TEL.0282-82-8508 岡 山 TEL.086-464-5411  
 群 馬 TEL.027-230-5311 福 岡 TEL.092-963-3634

環境にやさしい植物性大豆油インキを使用しています。

**安全に関するご注意** 正しい操作と、周囲への思いやりは、安全作業の第一歩です。  
 ご使用前に、必ず「取扱説明書」をよく読み、正しくお使いください。

●お問い合わせは...

KA-JA019

06.06 (CD/KA,GT3)



\*「オンラインスクリーニング」は、日立建機株式会社の登録商標です。  
 「Hi-OSS」は、商標登録出願中です。



# 粘性土・高含水比土質に好適。作業量拡大型の自走式土質改良機。



固化材コストを低減して、効率良く高品質な改良土を生産します。

**従来** 固化材を直接散布して油圧ショベルなどで混合します。従来工法では、混合時の固化材の飛散、混合むらによる強度のばらつきが発生しやすいなどの問題があります。

軟弱地盤 → 改良地盤

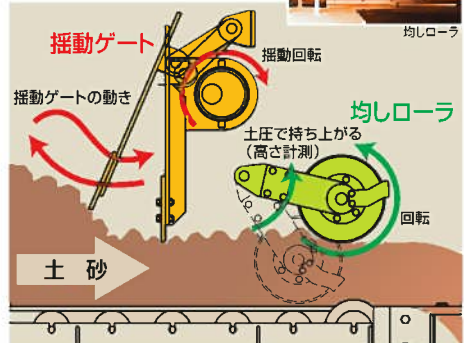
**SR-G2000導入** 混合効率の高さと正確な固化材添加量制御を誇るSR-G2000を導入することで、最小限の固化材量で設計強度を満たす改良土の生産が可能となります。また粉塵の発生も極力抑えることができ、作業環境を大幅に改善できます。

軟弱地盤 → 改良地盤

## 作業性

■粘性土も安定して供給できる新機構「揺動ゲート」を採用

揺動ゲートの作動により土砂の架橋現象を防止し、安定した土砂の供給が可能です。また、均しローラにより供給土砂量を連続して計測し、固化材添加量を正確に制御します。



■高い混合効率であらゆる性状の土質も改良可能

混合機にはSR-Pシリーズでも好評の「2軸パドルミキサ」方式を採用し、あらゆる性状の土質も改良可能です。さらに、構造変更によりクラス最大の作業量を実現しました。

クラス最大の作業量

処理能力：  
**40~135 m<sup>3</sup>/h**

※土の性状や作業条件、固化材添加量などにより異なります。  
※150 mm×150 mm以上の礫(れき)などが混入している場合は前処理が必要です。



■大容量添加に対応できるスクリュフィーダ

固化材添加量：  
**5~200 kg/m<sup>3</sup>**

※処理土量や固化材の性状、比重などにより異なります。



■幅広で低い土砂ホッパにより土砂の供給が容易



## メンテナンス性

■分割開放型混合機によりメンテナンス性が向上

混合機下部ケーシングは、油圧シリンダによりスライド開閉が可能です。点検・清掃が容易にできます。



## 機動性・輸送性

■伸縮式固化材ホッパにより一体輸送が可能

自走式クローラで、現場内を機敏に移動。トレーラへの丸積輸送を可能にする、伸縮式固化材ホッパを採用。



※写真は、固化材ホッパを縮め、固化材ホッパ部の手すりを外した状態です。

## 操作性・安全性

■ワンマンコントロールが可能

スイッチひとつで連動運転が可能。万一の異常発生時には回転灯・警報で知らせ、異常状態を操作盤に表示します。

